

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2003-5979(P2003-5979A)

【公開日】平成15年1月10日(2003.1.10)

【出願番号】特願2002-131501(P2002-131501)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 9/445

G 06 F 11/34

【F I】

G 06 F 9/06 610 L

G 06 F 11/34 S

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月6日(2005.5.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータシステムにおいてパフォーマンス管理ソフトウェアを自動的に構成するための方法であって、

アプリケーションおよびパフォーマンス管理ツールのインベントリを生成するステップ(210, 215)と、

前記アプリケーションおよび前記パフォーマンス管理ツールのインベントリのリスト(120)を生成するステップ(210, 215)と、

前記インベントリのリストを使用して、前記パフォーマンス管理ツールの構成を生成するステップ(230)と、

前記パフォーマンス管理ツールの前記構成を作動させるために、前記パフォーマンス管理ソフトウェアを再開するステップ(235)と、

を含む、方法。

【請求項2】

前記方法は、前記コンピュータシステムの始動時に実行される、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記方法は、要求に応じて実行される、

請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記方法は、周期的に実行される、

請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記方法は、自動的に実行される、

請求項1に記載の方法。

【請求項6】

インベントリのリストを生成する前記ステップは、インベントリ情報をASCIIフォーマットファイルに書き込むことを含む、

請求項1に記載の方法。

**【請求項 7】**

パフォーマンス管理ツールの構成を生成する前記ステップは、特定のパフォーマンス管理ツールに適用可能な収集パラメータ、アプリケーションに固有のインターフェース、パフォーマンスしきい値、およびアラームのうちの1つまたは複数を指定することを含み、

インベントリを生成する前記ステップは、インストール済みアプリケーションプログラムおよびインストール済みパフォーマンス管理ツールのインベントリを生成することを含む、

請求項1に記載の方法。

**【請求項 8】**

アクティブなアプリケーションプログラムおよびアクティブなパフォーマンス管理ツールのインベントリを生成するステップ(220)をさらに含み、

該アクティブなアプリケーションプログラムおよび該アクティブなパフォーマンス管理ツールには、アクティブ状態を示すためのフラグが立てられる、

請求項7に記載の方法。

**【請求項 9】**

手動で前記インベントリのリストを修正するステップ(225)と、

パフォーマンス管理ツールの構成を生成する前記ステップを繰り返すステップと、  
をさらに含む、請求項1に記載の方法。

**【請求項 10】**

コンピュータ環境においてパフォーマンス管理ツールを構成する方法であって、

前記コンピュータ環境におけるインストール済みアプリケーションプログラムを発見するステップ(210)と、

前記コンピュータ環境におけるインストール済みパフォーマンス管理ツールを発見するステップ(215)と、

前記コンピュータ環境におけるアクティブなアプリケーションプログラムを発見するステップ(220)と、

前記コンピュータ環境におけるアクティブなパフォーマンス管理ツールを発見するステップ(220)と、

前記インストール済みアプリケーションプログラム、前記アクティブなアプリケーションプログラム、前記インストール済みパフォーマンス管理ツール、および前記アクティブなパフォーマンス管理ツールのインベントリファイルを生成するステップであって、該アクティブなアプリケーションプログラムおよび該アクティブなパフォーマンス管理ツールにはフラグが立てられる、ステップと、

前記コンピュータ環境の特徴および前記インベントリファイルに基づいて、前記パフォーマンス管理ツールの構成ファイルを生成するステップ(230)と、

前記パフォーマンス管理ツールを作動させるために、前記パフォーマンス管理ツールを再開するステップ(235)と、

を含む方法。